

提言施策名	計画都市情報の情報収集の多角化について 提言研究員 斎藤 和雄
-------	------------------------------------

上記提言の要旨

今後の都市計画に関する情報の収集について、単に国内でなしに、国際的視点を含んだ情報の収集を提言したいと存じます。

私の勤務経験のあるドイツでは、車窓からみられる平野がなだらかに起伏し、何キロ先の車がキラキラ輝く光景を思い出すことができます。また、森林が多いので森の中に計画都市を作っていると聞いたことがあります。飛行機から見ると大森林の中をまっすぐ一本の道路がある光景を見たことがあります。街と街が一本の道路でつながっているのです。フランクフルト市では先の大戦で破壊されましたが、復興され元の街並みが再現されたといわれています。現在は、欧州の金融機関の本社ビルの高層建築が林立しています。

私は吉川市の将来の街づくりについてビスバーデン市みたいになったらいいなと感じています。中央駅からすこし歩いたところに一面芝生の大きい公園が目に入ります。大通りには、テアター（劇場）のガラス張りのビルが輝いているようなそんな街が希望です。

計画的に街作りをするのには、時間がかかります。若い市の担当者の方は百聞は一見に如かずですから、どうぞ見聞を広め今後の街作りを進めてください。